

DPC における高額薬剤の取り扱いについて

1. 経緯

(1) DPC における薬剤の評価

- DPC において薬剤は診断群分類に基づく包括点数の中で評価される。
- 但し、HIV 治療薬、血友病等に対する血液凝固因子製剤については、他疾患を主病とする場合の包括点数で十分な評価を得ることが困難という課題を踏まえ、平成 22 年改定において出来高で算定するよう見直された。
- この検討過程で、抗がん剤等他の高額薬剤についても適切な包括評価となっていない等の指摘があり、平成 22 年度の DPC 評価分科会において、高額薬剤の評価の在り方について検討することとされた（平成 21 年 1 月 27 日総会）。

(2) 新規に保険収載された高額薬剤の取扱い

- 新規に保険収載された一定の高額薬剤を使用する患者については、DPC において直ちに包括評価とはせず（出来高算定扱い）、その後の診療報酬改定において、原則として DPC による包括評価に移行することとされ（平成 19 年 6 月 22 日基本小委）、以降、このような運用により対応している。
- 一方、このような新規収載時に出来高とされた高額薬剤が改定時に包括評価へ移行する際の実際の取扱いについて、十分に評価されていないのではないか、との指摘とともに現状の精査と対応案の検討が求められた（平成 22 年 4 月 21 日総会）。

2. 高額薬剤評価の現状

(1) HIV 治療薬及び血友病等に対する血液凝固因子製剤

- 診断群分類点数表により包括点数が設定されている場合でも、以下の薬剤については包括範囲から除外し、出来高で算定する。（平成 22 年改定からの対応）
 - ① HIV 感染症の患者に使用する抗ウイルス薬に係る費用
 - ② 血友病等の患者に使用する血液凝固因子製剤に係る費用

(2) 新規に保険収載される高額薬剤

① 対象薬剤

標準的な使用における薬剤費（併用する医薬品も含む）の見込み額が、使用しない場合の薬剤費の平均+1SDを超えたもの。

② 保険収載時の対応

当該薬剤を使用した患者については、薬剤を含むすべての診療報酬について出来高算定とする。

③ 診療報酬改定時の対応

次のような考え方にもとづき、以下の3つのパターンで評価される。

- 原則として診断群分類にもとづく包括評価とする。この場合、診断群分類研究班での検討を経て、次のような対応を行う。

イ) 新たな診断群分類を設定して包括評価【パターンⅠ】

ロ) 既存の診断群分類の中で包括評価【パターンⅡ】

- 但し、改定時点で十分なデータが集積されない場合には、引き続き次期改定まで出来高算定とする。【パターンⅢ】

3. 論点と対応の考え方（案）

(1) 高額薬剤全般の取扱い（平成21年12月24日DPC評価分科会）

① 分科会の議論において指摘された主な論点

- 抗がん剤には多数の種類があり、注射薬、経口薬の違いもあることから、取扱いについては現場の使用実態も踏まえた慎重な検討が必要。
- 抗がん剤以外にも生物製剤等の高額な薬剤があることから、DPCにおける高額薬剤の取扱いに関する整理が必要。
- DPCにおいては、従来から抗がん剤等の高額薬剤の取扱いについて、診断群分類の精緻化等で対応しているが、その考え方が整理されていない。

② 今後の対応（案）

現場における様々な使用実態や課題を整理しつつ、これまでの評価分科会及び基本問題小委の方針通り、今後、現場のヒアリングも含めた検討を継続する。

(2) 出来高算定とされていた高額薬剤の取扱い

① 平成22年4月21日中医協総会において指摘された論点

新規保険収載時に高額薬剤（出来高算定）とされた薬剤について、診療報酬改定時の取扱いが議論され、新規の包括評価（パターンⅠ）、既存の包括評価（パターンⅡ）、出来高評価（パターンⅢ）をどのような考え方で振り分けているのか、その考え方も含め精査するべき、との指摘があった。

特に該当する薬剤の中に、現在の診断群分類にもとづく評価では薬剤費が十分反映されていないのではないか、という意見もあり、これらについて再度確認すると共に、早急な対応が求められた。

【参考】平成22年度改定における対応（剤形別に整理）

保険収載時に高額薬剤の取扱いに該当した薬剤 … 23 薬剤

○ 診断群分類にもとづく包括評価

- ハ) 新たな診断群分類を設定して包括評価【パターンⅠ】 … 16 薬剤
- ニ) 既存の診断群分類の中で包括評価【パターンⅡ】 … 3 薬剤

○ 十分なデータが得られず、引き続き出来高算定【パターンⅢ】 … 4 薬剤

② 対応（案）

平成22年度診療報酬改定において対応した上記23薬剤について再度、精査を行い、その結果に基づき、次回DPC評価分科会において必要な対応を検討する。